

## 鉄コーティング湛水直播栽培の倒伏を軽減する水管理

### 【1 成果の概要】

- (1) 鉄コーティング湛水直播栽培は、土壌表面に播種するため、倒伏しやすい特徴がありますが、登熟中の田面土壌硬度が高いほど、倒伏は軽減される傾向があります(図1, 2)。
- (2) 通常の中干しに加え、穂ばらみ期(止葉葉耳の抽出後から1週間)の落水管理を追加することにより、登熟後半まで土壌硬度は高く維持され、倒伏を軽減することができます(図3, 4)。この場合、玄米品質(検査等級、タンパク質含有量)への影響は認められません。



図1 鉄コーティング湛水直播での倒伏

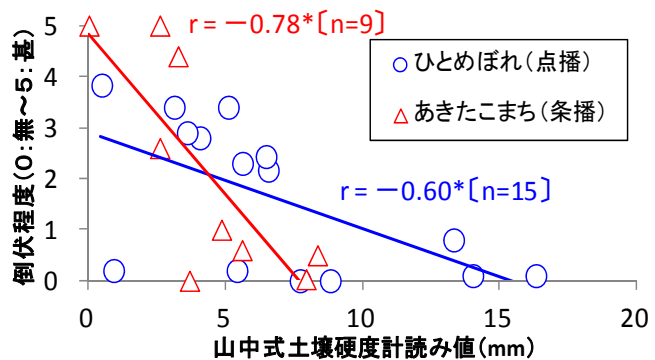


図2 出穂10~20日頃の田面土壌硬度と収穫直前の倒伏程度の関係

年次：ひとめぼれ：H27, 28, 29年, あきたこまち：H25年。

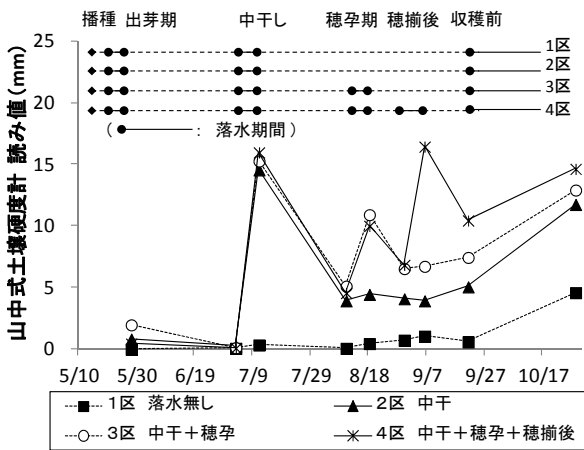


図3 落水管理別 田面土壌硬度の推移 (H29 北上, ひとめぼれ)

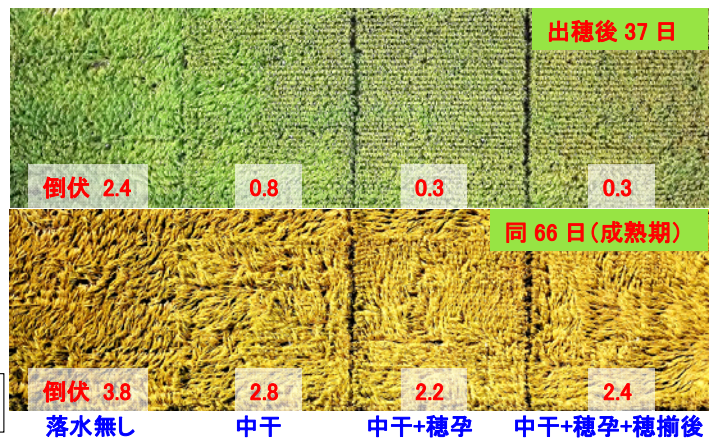


図4 落水管理別の倒伏進行状況 (H29 北上, ひとめぼれ)

### 【2 留意事項】

- (1) 気象予報等により、低温・高温乾燥が見込まれる場合は、落水管理の実施を見合わせて下さい。
- (2) 穂ばらみ期に落水できなかった場合は、穂揃い期の落水(出穂10日後から1週間程度)を代替策として実施して下さい。

担当研究室 プロジェクト推進室

〒024-0003 北上市成田 20-1 TEL. 0197-68-4412 FAX. 0197-71-1081